



つながるべし

家族だけで子育てをするのは大変です。さまざまな分野の人が連携するなど、母子の健康をサポートする取り組みを紹介します。

妊娠期からのつながり支援

私たち健康増進課では、母子にとって大切な時期に関わる人が多いので、お母さんの気持ちに寄り添って支えることに気をつけています。

保健師の似顔絵の入った名刺やマグネットをお渡ししているのもそのひとつです。何でも気軽に相談してほしいのですが、保健師に相談するのはハードルが高いと感じる人も多いですね。そんな時に似顔絵を見

て身近に感じてもらうって、相談しよつかないと思ってもらうきっかけになると思います。

実際に名刺の印象が残っているように、担当保健師に電話がかかってくることも多くなりました。

また可児市では、助産師や管理栄養士、歯科衛生士などさまざまな分野の人が連携して、子育てをサポートしています。妊娠期から出産後も引き続き支援しますので、気軽に相談ください。



気軽に相談してください

健康増進課 保健師
満嶋 すもも

関係機関とつなぐ

子ども応援センターばあむ

発達が気になる子どもと家族に対する早期支援や、幼児期から学童期へつなぐ支援などにより、健やかな子どもの育ちを支えます。

アイテムでつなぐ

母子健康手帳をお渡しするときやお話をする際などに、担当する保健師のマグネットや名刺を渡しています。担当者の顔が見え、相談しやすいと好評です。



イラストは本誌で可児っ子しんちゃんを連載中で市内在住の漫画家・赤座ひではるさんが描いています。

このまちで、育つ

～マイナス10カ月から つなぐまなぶ かかわる 子育て～

子育ては子どもがお腹の中に宿ったときから始まります。可児市では妊娠期から、地域・社会みんなで子育てに関わっていけるよう、切れ目のない支援を進めています。5月6日にはその拠点となる子育て健康プラザが開館します。開館に先駆けて、子育て支援に関わる人たちの思いや取り組みを紹介します。

問合せ先 子育て支援課

サロンで不安が和らぎました

マタニティサロンでは出産予定日の近い妊婦さんが集まっておしゃべりしたり、情報交換をしています。参加者の高尾さんからお話をいただきました。



(右から)高尾祐市さん、紅羽ちゃん、奈美さん

サロンに参加したお母さんからは、赤ちゃんを産む病院などさまざまな話を聞くことができました。出産は分らないことが多く不安でしたので、同じ境遇のお母さんと話せたのはありがたかったです。味噌汁の塩分測定も印象に残っています。自宅で塩分を測ることはありませんし、栄養士さんが子どもの成長時期に合わせた調理のポイントを教えてくれて、ためになりました。可児市ではいろいろな教室を開いています。参加していない人もいます。保健師さんの対応も温かいので、まずは参加してみたいです。



絆る～む スタッフ
松井 慶子

絆る～むでリラックス

子育ては一人一人違って、大変な部分もありますから、絆る～むではお母さんたちがゆったり過ごせるようにしています。リラックスする時間を持って、他のお母さんや子ども同士が触れ合うことで、声掛けが優しくなったり、気持ちに余裕が生まれたという人もいらっしゃいます。スタッフとしてうれしいのは、お子さんの成長をお母さんと一緒に見られるということ、一緒に喜べるこ

と。なかなか歩かなかった子が歩けるようになって、ずっと待ち遠しく思っていたお母さんから「歩けるようになったんですよ」と教えてもらったときや、その子が実際に歩く姿を見たときはすごくうれしくて、私も思わず泣きそうになってしまっただけです。
お母さんだけでなく、ぜひお父さんにも利用してほしいですね。普段の子どもと違う姿を見ると、新しい発見があると思いますよ。まずは気軽ににお立ち寄りください。

市内には、親子が過ごせるさまざまな場所があります。リラックスできる時間を持ちたり、同じ年頃の子ともたちが触れ合えます。

行政との関わり

かかわる

市民同士の関わり

困ったこと、大変だったこと。可見市には、共感する市民同士だからこそできる、助け合い、学び合える仕組みがあります。

会員同士の助け合いを橋渡し

初めてファミリー・サポート・センター（以下ファミサポ）を利用する会員から依頼を受けるときには、さまざまなお悩みを詳しくお聞きし、サポート会員に伝えています。またファミサポで解決することが難しい場合は他の支援窓口を紹介するなど、会員の「困った」をできる限り解決できるような心掛けています。

サポート会員は子どもが好きなおとももちろん、自身が子育てで苦労した経験や、子育ての大変さへの共感から、少しでも手助けになればという思いで登録・活動されています。またファミサポでは毎年、誰でも参加できる交流会を開催しています。ぜひ遊びに来てください。



ファミリー・サポート・センター アドバイザー
加藤 弘美

子育てサロンでかかわる

民生児童委員や主任児童委員、地域の皆さんが毎月1回運営しています。子どもたちを遊ばせながら、気軽におしゃべりができ、保護者同士の情報交換の場になっています。（開催日などはP.7をご覧ください）



ファミリー・サポート・センターでかかわる

子育ての手助けが欲しい人（利用会員）とお手伝いできる人（サポート会員）をつなぐ制度です。一時的なサポートが必要となったとき、センターが会員同士の援助活動を仲介します。

児童センター・児童館でかかわる

幼児と保護者向けのふれあい活動や、小学生対象のクラブ活動に加え、体力増進や食育の推進にも取り組んでいます。専門のスタッフによる子育て相談も行っています。

子育て支援センターでかかわる

子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供します。また、地域の子育て関連情報の提供や、子育て支援に関する講習などを実施します。

絆る～むでかかわる

小さな子どもを育てている親が、アロマの香りとオルゴールの音の中でくつろぎながら過ごせます。子どもを安心して遊ばせられ、親同士の交流の場にもなっています。3歳未満の子と保護者が利用できます。

絆る～むを利用しています



葛山 真美子さん
夏帆ちゃん

同世代の子どもが集まっているので、子ども同士と一緒に楽しく遊んでいます。他のお母さんの子どもへの接し方も参考になりますよ。
授乳室やベビーベッドなどが整っていて過ごしやすいですし、冷暖房が効いているのもありがたいですね。



沓掛 裕子さん
葵ちゃん

子どもが生まれたときに保健師さんが自宅に来てくれて、その時に絆る～むのパンフレットをいただきました。
スタッフの皆さんも優しくて落ち着きますし、子どもも家にいるよりのびのびと体を動かせるので、楽しく利用しています。

子育ての楽しさを伝えたい



CSP受講者で上級指導者検定を受験中の2人。長瀬結美さん（左）と高野裕美さん。市はCSPを活用した子育ての学びを伝える市民講師の育成に取り組んでいます。

「コモンセンスペアレンティング（CSP）」はとても具体的で、日常で使っている育児方法だと思いましたが、子どもとどう接するのか、どう伝えれば良いかなど学べるのが心強いです。

以前は育児に負担を感じることも多かったのですが、ずいぶん負担が減ったと感じています。子どもと一緒に喜んだり、楽しく過ごす時間も増えました。

CSPをもっと多くの人に知ってもらい、子どもと大切な時間を過ごせる大人が増えるといいなと思います。

コモンセンスペアレンティング

子どもの行動にどう対応するのかなど、効果的なしつけの方法を学び、子どもにも積極的な態度で向き合えるよう手助けする実用的な育児プログラム。県内では唯一可見市が取り組んでいます。

まなぶ

子どもが育つには学びも大切。子どもたちが通う小中学校の取り組みや、子どもたちを見守るいじめ防止について紹介します。



子どもも親もサポート

可児市の小中学校では「笑顔の学校」をテーマに、子どもたちの長所を伸ばすさまざまな取り組みを行っています。

例えば旭小中学校では、2年前から「コミュニケーション能力を高めるための取り組みを進めています。子どもたちは何度も体験することで、相手の話をしっかり聞いたり、自分の考えや意見を伝えられるようになるなど、成長が見られるようになりました。

また学校では特別な体験だけでなく、児童の日ごろの様子を大切にしています。普段と違う様子の子に声をかけたり、一人一人時間をしっかりと話を聞いたりするなど、相談しやすい関係づくりに努めています。他にもスクールカウンセラーを各校に1人配置。子どもだけでなく、保護者の悩みや相談にも対応しています。

子どもたちへの積極的な働きかけと、困ったときに相談できるような支える仕組みの両面から、大切な子どもたちと関わっていきます。



教育研究所 指導主事
佐久間 暁

ふるさとでの関わりをまなぶ

小中学校では、可児市の歴史とつながりの深いお茶（茶道）や陶芸などを授業に取り入れ、実際に体験しています。

体験で礼儀作法などを身に付けたり、歴史や文化を調べたりすることで可児市の良さを再確認し、郷土を愛する心を育みます。



家庭教育学級でまなぶ

子どもの人間形成やしつけに大きな役割を果たす親を対象とし、子育てに関する学び合いや仲間づくりの機会を提供します。

各小中学校や保育園・幼稚園で行う家庭教育学級、未就園児とその親を対象に各地区センターで行う乳幼児学級があります。

「いじめのようだ」の段階でもご相談を

可児市いじめ防止専門委員会は、可児市子どものいじめの防止に関する条例に基づき、通報・相談のあった事案について「1つ1つ丁寧に対応し、解決を支援しています。

「子どもがいじめにあっている（ようだ）」「いじめられている（ようだ）」場面を見た」という人は、学校に連絡するのが良いと思います。しかし、「ちょっとかかっている」「ここに連絡しようか分からない」という場合、遠慮なく委員会にお電話ください。専門委員の他、常勤のスタッフがいますので、安心して相談いただけます。匿名でも相談に応じます。いじめで困っていたり、困っている子を見かけた人は、迷わず連絡をください。

可児市いじめ防止専門委員会
委員長 橋本治

可児市いじめ防止専門委員会は、面談の他に電話、メールでも相談を受け付けています。

受付時間 平日の午前8時30分～午後5時

子ども相談ダイヤル
☎0120(2)63() 115
相談室 ☎87000



↑メールでの相談はこちら

子育て健康プラザ 5月6日開館

可児駅前建設を進めている子育て健康プラザ（愛称 manno）。5月6日完成が近づいてきました。

子育て健康プラザにどのような機能が入るのか、どうやって利用するのかなど、順次お知らせしていきます。

問合せ 子育て支援課



建設中の子育て健康プラザ



子育て健康プラザのロゴ（上）と、中央児童センターのロゴ（下）

お出かけしたいとき

小さな子どもと一緒に過ごせる施設です。

| 児童センター・児童館 (18歳未満の子と保護者が対象) | |
|--|------------------------|
| 施設名(住所) | 時間、問合せ |
| 広見児童センター(広見1688) 3月末で閉館します | 8:30～17:00 ☎62-3340 |
| 帷子児童センター(東帷子1024-6) | 8:30～17:00 ☎65-7111 |
| 桜ヶ丘児童センター(単ヶ丘6-1-1) | 8:30～17:00 ☎64-4001 |
| 兼山児童館(兼山674-1) | 8:30～17:00 ☎59-2113 |
| 中央児童センター(下恵土5076) 5月6日に子育て健康プラザで開館します | 8:30～21:00 |

| 絆る〜む (3歳未満の子と保護者が対象) | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 場所 | 時間、問合せ |
| 総合会館(広見1-5) 5月6日に子育て健康プラザに移転・開室します | 平日の8:30～17:00 ☎62-1111(子育て支援課) |

| 子育て支援センター(未就園児と保護者が対象) | | |
|--------------------------------|--------------------|------------------------|
| 名称 | 会場(住所) | 時間、問合せ |
| すみれ楽園地域子育て支援センター | すみれ楽園(下恵土2819-6) | 9:30～16:00 ☎62-1836 |
| ひろみ保育園いちご | ひろみ保育園(広見751) | 9:30～15:30 ☎63-5369 |
| はくみの森保育園いちご | はくみの森保育園(塩1272) | 9:30～15:30 ☎60-0893 |
| (仮称)可児さくら地域子育て支援センター 4月開設予定 | 可児さくら保育園(広見1352-2) | — |

| 子育てサロン(未就園児と保護者が対象) | | |
|---------------------|---------------------|---------------------------------|
| 名称 | 会場(住所) | 時間、開催日 |
| 鳩ほっほ | 土田地区センター(土田2352-2) | 10:00～12:00 第1火曜日 |
| かたびらっこ | 帷子児童センター(東帷子1024-6) | 10:00～11:30 第2月曜日 |
| スマイリー | 川合地区センター(川合北2-14) | 10:00～11:30 第2水曜日 |
| さくらっこ | 桜ヶ丘児童センター(単ヶ丘6-1-1) | 10:00～12:00 第2水曜日 |
| にこにこサロン※ | 広見児童センター(広見1688) | 10:00～11:30 第2木曜日 |
| ひよこっこ | 春里地区センター(矢戸407) | 10:00～12:00 第2土曜日 |
| どんぐり | 下恵土地区センター(下恵土1673) | 10:00～12:00(4月からは11:30まで)、第3水曜日 |
| あゆみ | 南帷子小学校(東帷子2231) | 10:00～12:00 第3水曜日 |
| すこやかルーム | 姫治地区センター(下切1530) | 10:00～12:00 第3金曜日 |
| かねやまっこ | 兼山児童館(兼山674-1) | 10:00～11:30 第3水曜日 |
| いまっこ | 今渡地区センター(今渡1521-4) | 10:00～11:30 第1水曜日 |

※広見児童センターの閉館に伴い、3月末で休止します。今後の開催場所などは未定です。

相談したいとき

どうしたらいいのかな?と悩んだときに相談できる窓口です。

| 相談内容 | 相談窓口 | 時間、問合せ |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|
| ひとり親家庭について(母子寡婦福祉資金、ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金など) | こども課 5月に子育て健康プラザへ移転します | |
| 障がいのある子について(療育手帳、障害児福祉手当、重度心身障がい者医療費助成など) | 福祉課 (4月から福祉支援課) | 8:30～17:15(平日) ☎62-1111 |
| 子どもの発育・健康など(母子保健) | 健康増進課(保健センター) 5月に子育て健康プラザへ移転します | |
| 就学前の子どもの発達について | こども応援センター・ばあむ 5月に子育て健康プラザへ移転します | 8:30～17:15(平日) ☎62-1112 |
| 子どもの性格・しつけなど子育て全般 | 広見児童センター 3月末で閉館します | 10:00～15:00(水・金) ☎62-3340 |
| | 帷子児童センター | 10:00～15:00(火・金) ☎65-7111 |
| | 桜ヶ丘児童センター | 10:00～15:00(火・木) ☎64-4001 |
| | 兼山児童館 | 10:00～15:00(火・木) ☎59-2113 |
| 子どもの養育・虐待・家庭環境・DV | こども課 5月に子育て健康プラザへ移転します | 8:30～17:15(平日) ☎62-1111 |
| | 県中濃こども相談センター | 8:30～17:15(平日) ☎25-3111 |
| | 可児警察署 | ☎61-0110 |
| 障がい者の社会参加、助成制度など | 障がい者生活支援センター「ハーモニー」 | 8:30～17:00(平日) ☎62-5231 |
| 少年非行、青少年に関する悩み事 | 可児市少年センター | ☎62-1111 |
| いじめに関すること | 子ども相談専用ダイヤル | 8:30～17:00(平日) ☎0120-263-115 |
| | 心の電話相談(教育研究所) | 9:00～16:00(平日) ☎63-2444 |
| | いじめ相談24(県教育委員会) | 24時間 ☎0120-740-070 |
| | 子どもの人権110番(法務局) | 8:30～17:15(平日) ☎0120-007-110 |
| | 県中濃こども相談センター | 9:00～17:00(平日) ☎25-3111 |
| | チャイルドライン | 16:00～21:00(月～土) ☎0120-99-7777 |

※相談窓口はp.23でも紹介しています。合わせてご覧ください。